

100 Years History of **Nomura Co., Ltd.**

株式会社ノムラ 創業100年の歩み



発刊のご挨拶



当社は、このたび創業 100 周年を迎えることができました。これもひとえにお客様をはじめとする関係各社様のご支援の賜物と深く感謝いたしますとともに、諸先輩そして社員の皆様のご努力、ご尽力に厚く御礼申し上げます。

当社は、1917 年（大正 6 年）初代社長野村勝之助が現在の所在地でもあります神田神保町で創業し、関東大震災・大戦で二度の家屋焼失に遇いながらも、戦後進駐軍

納めから始まり、日本の高度成長とともに小売主体からホテル・レストラン・結婚式場・給食関係・料亭様への卸売業に移行し今日に至っております。扱っています商品も昔では考えられないほどに増えました。その中には過去に作っていた PB のベーコンを委託生産ではありますが復活、手造りハンバーグの復活なども含まれます。作業も昔のホールでの納品から手を加えた商品へと変わって、細かい作業が求められております。また衛生面でも現在は非常に高レベルなものが必須とされます。当社はこれらのことにいち早く対応してきたことが、100 周年というご褒美をいただけた一番の理由かなと感じております。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。当社は過去 1964 年東京オリンピック、1972 年札幌オリンピックの選手村の食堂への納品という輝かしい名誉がありました。2020 年度も、やはりビジネスチャンスと捉えており、さらなる飛躍を目指してまいります。

関係各方面の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2017 年 4 月

株式会社ノムラ 代表取締役社長 **豊島 一夫**

株式会社ノムラ 社訓五ヶ条

- 一、お客さまの要望に応えよう
- 一、食の安全安心を徹底しよう
- 一、創意工夫に心がけよう
- 一、社員一丸となって協力し合おう
- 一、自分に恥ずかしくない仕事をしよう

会社概要

社 名	株式会社ノムラ
所 在 地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-15
連 絡 先	TEL 03-3291-5500 FAX 03-3291-5525 HP http://www.nomura-meat.co.jp
創 業	1917 年 4 月
設 立	1948 年 4 月
資 本 金	4,000 万円
従業員数	35 名
業 務 内 容	業務用食肉卸／ハンバーグ加工／PB ベーコン販売／国産牛、輸入牛、仔牛、 豚、鶏、ラム、ハム・ソーセージ、他
役 員	代表取締役社長 豊島 一夫 専務取締役 吉村 不可止 常務取締役 山崎 朝雄 監査役 古澤 茂徳 会長 豊島 正治

年 表			1916-1965		
西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事	西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1916年 (大正5年)	●野村勝之助…横浜中華街の(株)江戸清にて修業を終える		1958年 (昭和33年)	 昭和33年当時の神保町。牛豚肉の看板(右側)が当社	●東京タワー完工
1917年 (大正6年)	●初代社長野村勝之助…神田神保町にて精肉店を創業		1961年 (昭和36年)	 食堂でくつろぐ社長夫妻と社員たち	●ソ連が人類初の有人宇宙飛行に成功
1918年 (大正7年)		●第1次世界大戦終結	1962年 (昭和37年)	●野村勝之助社長邸新築 … 1階は小売部門に ●創立50周年記念イベントを浅草松葉屋で開催(実際は50年には満たなかったが社長邸新築もあり前倒しで開催)  晴れ舞台での社長夫妻(創立50周年記念イベントにて)  50周年記念イベント全景	●東京の人口が1,000万人を突破(世界初)
1923年 (大正12年)	●関東大震災で店舗焼失…一時避難	●関東大震災発生	1963年 (昭和38年)	●初めての社員旅行(日光)、以後1995年まで毎年	
1924年 (大正13年)	●区画整理後現地所に店舗建設、ハム・ベーコン・ソーセージ・ラードの製造設備も構築、製造を開始する…営業再開		1964年 (昭和39年)	●東京オリンピック選手村納入  オリンピック選手村で、お手伝いした同業の皆さんと  オリンピック選手村にて豊島正治	●東京オリンピック開催 ●東海道新幹線開業
1926年 (大正15年) (昭和元年)			1965年 (昭和40年)		●ベトナム戦争勃発
1941年 (昭和16年)		●第2次世界大戦勃発			
1945年 (昭和20年)	●東京大空襲にて店舗焼失…写真等の記録も全部焼失(すずらん通りはかなり焼け残った)	●終戦			
1946年 (昭和21年)	●仮店舗で営業開始				
1947年 (昭和22年)	●店舗完成…本格営業、ハム・ソーセージ・ベーコン・ラード再開				
1948年 (昭和23年)	●組織変更…(株)野村商店に、二代目社長豊島正治入社、GHQへの納品始まる(帝国ホテル・成増キャンプ・朝霞キャンプ・米軍関係住宅)				
1952年 (昭和27年)	●帝国ホテル接收解除となり4月1日より自由営業を再開する、引き続き納品現在に至る				
1953年 (昭和28年)		●NHKテレビの放送開始			
1955年 (昭和30年)	●成増キャンプ・朝霞キャンプ納品終了  神田祭・野村勝之助社長と社員たち  神田祭の御輿がすずらん通りを練り歩く				
1957年 (昭和32年)	 忘年会  昭和32年当時の作業場風景				

年表

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1966年 (昭和41年)	●ハム・ベーコン・ソーセージ・ラードの自社製造終了 ●旧本社ビル建築着工…(株)ニイチクの一部を借りて営業	●日本の総人口1億人突破
1967年 (昭和42年)	●ユニバーシアード東京大会選手村納入 ●旧本社ビル完成  旧本社ビル1階の冷蔵庫  旧本社ビルの作業場  旧本社ビル屋上より  旧本社ビル落成式記念写真  小川軒の出前を囲んで  社員旅行(伊東)  倉石農林大臣が来社  ユニバーシアード東京大会の感謝状	●ユニバーシアード東京大会開催
1968年 (昭和43年)	●(株)豊商事設立	●霞が関ビル完成
1969年 (昭和44年)	●品川御殿山に野村第二ビル建設…地下冷凍庫、1・2階は(株)豊商事使用  野村第二ビルが千代田週報に載る  野村第二ビル落成式 	●牛肉のホテル枠が認可され、輸入牛がスタート ●アポロ11号月面着陸成功

1966-1975

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1970年 (昭和45年)	●ハンバーグ製造開始…新幹線列車食堂向け ●高田馬場にて「ステーキゆたか」オープン  本格的炭火焼ステーキを提供  国産のTボーンステーキ  野球チームのメンバーたち	●大阪万博開催
1972年 (昭和47年)	●札幌オリンピック選手村納入 ●野村勝之助社長逝去、豊島正治二代目社長に就任・初訪米 ●(株)ユタカミート設立(白金台第三野村ビルにて)…野村のハンバーグ部門を委託 ●PBのベーコン委託生産開始、人気商品となり現在も続くロングセラー  札幌オリンピック感謝状  二代目社長豊島正治初訪米  コロラド州モンフォート社にて  野村勝之助社長逝去  PBベーコンの委託生産開始	●札幌オリンピック開催 ●沖縄返還
1973年 (昭和48年)	●レストラン「ゆたか34」を原宿パレフランセ6階で開業。金田正一氏、長門裕之氏と協同経営  「ゆたか34」オープニングレセプション	●オイルショック始まる
1974年 (昭和49年)		●長嶋茂雄選手引退
1975年 (昭和50年)		●東京食肉業務用卸協同組合発足(21社)

年表

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1976年 (昭和51年)		●東京食肉業務用卸協同組合法人化
1977年 (昭和52年)		●王貞治選手756号の本塁打世界記録を達成
1978年 (昭和53年)		●成田空港開港 ●日中平和友好条約調印
1979年 (昭和54年)	●豊商事大田区東糀谷に自社ビル取得・移転 ●豊島正治社長初訪中  三水会にて初訪中の豊島正治社長  神田祭を2階よりのぞむ	●全国食肉業務用卸協同組合連合会（任意団体）発足（7組合・121社） ●東京サミット開催
1980年 (昭和55年)	●(株)ノムラフーズ設立…品川御殿山第二野村ビルにて	
1981年 (昭和56年)	 全国食肉業務用卸協同組合連合会創立総会  ホテル枠の事務作業	●全国食肉業務用卸協同組合連合会創立総会、同連合会が牛肉ホテル枠の受け皿となり事務代行を行う
1982年 (昭和57年)	●原宿のレストラン「ゆたか34」閉店  第6回東京食肉業務用卸協同組合総会  フーデックスでニュージーランドブースのお手伝い	●全国食肉業務用卸協同組合連合会第一回通常総会開催 ●上越新幹線開業
1983年 (昭和58年)	●(株)ノムラフーズが赤羽西ビルに移転  関係会社4社との合同旅行  当時の作業風景	●輸入牛肉指定店が3,000店に増加 ●東京ディズニーランド開園

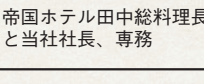
1976-1992

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1985年 (昭和60年)	●品川御殿山第二野村ビルに作業場を開設…現社屋建設の為  旧本社、建て替え前最後の写真。 左が小売部	●つくばで国際科学技術博開催
1986年 (昭和61年)	●現社屋(本社ビル)と第五ノムラビルも完成…社名変更(株)ノムラに ●第五ノムラビル地下に高田馬場から「レストランゆたか」移転 ●豊島正治社長「服部栄養専門学校」の講師に  現社屋の新しい冷蔵庫  現社屋完成  社屋竣工披露宴	●東京サミット開催 ●バブル景気始まる ●チェルノブイリ原発事故発生
1987年 (昭和62年)	●茨城鹿島に海の家購入…社員・家族の保養に使用 ●豊島正治社長『肉屋さんが書いた肉の本』出版  鹿島の海の家  肉屋さんが書いた肉の本 豊島正治著 『肉屋さんが書いた肉の本』	●ニューヨークの株式市場が大暴落(ブラックマンデー)
1988年 (昭和63年)		●日米・日豪牛肉合意、自由化1991年4月からに決定
1989年 (昭和64年) (平成元年)		●消費税スタート3% ●昭和天皇崩御 ●新元号「平成」スタート
1990年 (平成2年)	 ホテルオークラの 小野ムッシュと  数寄屋橋ライオンズクラブに て帝国ホテル村上ムッシュと  帝国ホテルの 村上ムッシュと	●天皇陛下、即位の礼 ●東西ドイツが統一
1991年 (平成3年)	●(株)ユタカミート自社ビル完成(久が原)・移転	●4月1日より牛肉の輸入自由化(関税70%) ●雲仙普賢岳で大火砕流発生 ●バブル崩壊
1992年 (平成4年)	●(株)ノムラフーズ社屋建て替えのため白金台ノムラビルで営業	

年表

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
1993年 (平成5年)	●(株)ノムラフーズ新社屋完成・移転	●牛肉の関税 50%に、以後ガットウルグアイラウンド合意で段階的に38.5%に(平成12年度まで)段階的に引き下げ決定
1994年 (平成6年)	●(株)ノムラ白金台事業所開始…仕込み作業所  食肉連合神田支部の新年会  目白学園女子短期大学の学生たちが見学授業で来社  見学授業後の食事会。『ステーキゆたか』にて  富士屋ホテルの第1回合同ゴルフコンペ	●円高1ドル100円を突破
1995年 (平成7年)	●第五ノムラビル地下の「ステーキゆたか」閉店	●阪神・淡路大震災発生 ●7月よりPL法施行
1996年 (平成8年)		●イギリスでBSE発生 ●日本でO157が発生し、牛肉の消費が減少
1997年 (平成9年)		●消費税が5%に ●台湾で口蹄疫発生
1998年 (平成10年)	 日本ハムファイターズ激励会  日本ハムの大社オーナー	●厚生省が牛レバーなど生食用食品の衛生基準を設定 ●長野オリンピック開催
1999年 (平成11年)		●イタリア・スペインから食肉・生ハム輸入解禁
2000年 (平成12年)	●本社3階を作業場に改造…白金台事業所閉所 ●社員食堂を第五ノムラビル地下に移転  脱骨作業	●宮崎県で口蹄疫が国内で92年ぶり発生 ●牛肉の関税38.5%に ●原産地表示の義務付け始まる ●三宅島で大規模噴火発生
2001年 (平成13年)	●日本でもBSE発生…牛肉の消費がさらに減少、豚・鶏・鴨に移行	●アメリカで同時多発テロが発生 ●千葉県においてBSE発生
2002年 (平成14年)		●アメリカで港湾スト ●オーストラリア干ばつ

1993-2017

西暦(和暦)	社内の出来事	社外の出来事
2003年 (平成15年)	●アメリカでのBSE発生により米国産牛肉の輸入停止  赤羽西ビル	●イラク戦争勃発 ●新型肺炎SARS東南アジアで拡大 ●神保町にジェイシティ東京が完成し、町が様変わり
2004年 (平成16年)	●社員食堂閉鎖	●鳥インフルエンザ・日本全土で猛威 ●牛肉トレーサビリティ法スタート
2005年 (平成17年)	●本社3階にて手造りハンバーグ製造開始  手造りハンバーグ(PB商品)は、焼くと膨らむのが特徴	
2007年 (平成19年)		●新潟県中越沖地震発生 ●鳥インフルエンザが宮崎県で拡大
2008年 (平成20年)		●リーマンショック
2009年 (平成21年)	●豊島一夫三代目社長に就任 ●(株)ノムラフーズが解散	●民主党政権誕生
2010年 (平成22年)	●豊島正治会長、日本ラ・シェーヌ・デ・ロティスール協会より、コマンドール章およびオフィシェの階位を授かる ●ホームページをリニューアル  豊島正治会長	●口蹄疫宮崎で猛威
2011年 (平成23年)	●(株)ユタカミートがノムラ傘下から独立	●東日本大震災発生。当社は義援金を送る、パーティ自粛
2012年 (平成24年)		●アメリカ干ばつ ●12月安倍第2次内閣スタート ●東京スカイツリー開業
2013年 (平成25年)	●ノムラ赤羽西ビルを貸しビルに  第五ノムラビル	●アベノミクス始まる ●2020年東京オリンピック開催決定
2014年 (平成26年)	 豊島正治が役員退任	●消費税が8%に ●円安で外国人旅行客急増 ●オーストラリア干ばつ
2015年 (平成27年)	●豊島正治が役員退任	●日豪EPAが1月15日から発動税率が安くなる ●和牛・国産牛価格が急騰 ●オーストラリア干ばつ
2016年 (平成28年)	●決算期を6月に変更  帝国ホテル田中総料理長と当社社長、専務	●熊本地震発生。当社は義援金を送る
2017年 (平成29年)	●創業100周年記念式典を帝国ホテルで開催  創業100周年記念に帝国ホテルより贈られたお花	

老舗の矜持が安心・安全を支える

1917 (大正 6) 年に神田神保町において精肉店として創業、さらに1948 (昭和23) 年に食肉卸会社として事業を開始。食肉類全般のメニューに最適な食材を、国内外から厳選して調達し、社内の徹底した衛生管理の下で、ポーションカット、スライス、ミンチなど様々な細かい仕様に沿って精肉する。さらに、弊社独自の製法によるベーコンやハンバーグなどの加工製品も生産。老舗としての長年の経験を活かした高度な食肉加工技術および大量安定供給はもちろん、様々な包装技術、賞味期限管理や温度管理などの徹底した衛生管理、トレーサビリティ管理を行い、安心・安全な食品をお客様に送り届ける。



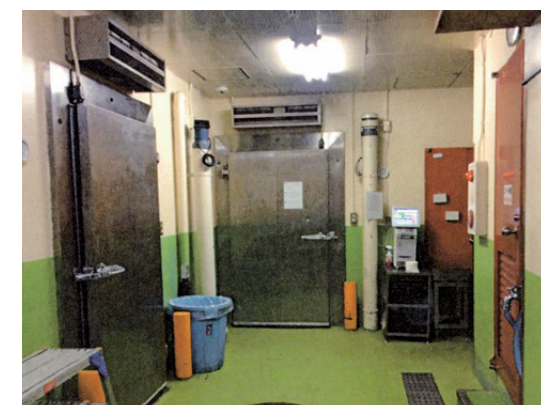
朝礼



牛ヒレ肉のトリミング作業



ポーションカット



地下冷蔵庫



ハンドソーによる骨のカッティング



ハンバーグ計量・成形

株式会社ノムラと神田神保町 ～街とともに100年間～

旧本社と現在の本社



昭和30年代と現在のすずらん通り



(提供：千代田区広報広聴課)



昭和30年代と現在の神保町交差点



(提供：千代田区広報広聴課)



豊島正治会長談話

戦後まもなく、叔父が始めた精肉店に入り、魚や野菜も扱いながら取引先を切り開きました。当時は配達にも苦勞し、自転車で遠方まで行くこともあり。現在は国産・輸入の牛、豚、羊など食肉全般についてお客様の要望に合わせてカットし、首都圏のホテルに納品させていただいております。調理人の方が肉のカット技術を勉強しに当社にいらしたり、新人教育のサポートをさせていただいたりすることもあります。また、服部栄養専門学校で講師をしたり、著書『肉屋さんが書いた 肉の本』も好評をいただいております。

帝国ホテルの各料理長様とともに戦後の復興期を乗り越えてきたのが当社発展の大きな要因です。戦後直後、現在の帝国ホテルはGHQの宿泊施設でした。当時、知合いのついで、料理長と知合い取引が始まりました。GHQが退いた後、帝国ホテルが再オープンし、料理長がそのまま帝国ホテルの料理長に就任されたため、引き続きお取引をいただくことができました。

その後、帝国ホテルとの取引が縁で東京オリンピック・

札幌オリンピック・ユニバーシアードの際に選手村に食肉を卸すことになり、また大阪万博の時には東海道山陽新幹線の食堂車に当社で製造したハンバーグも納めることになりました。帝国ホテルとはいろいろな思い出がありますが、特に思い出すのはスライスベーコンの開発です。村上氏が総料理長の当時、犬丸元社長のこだわりもあり、西洋人向けのカリカリとした味を再現することにトライしました。帝国ホテルの方々とともに何日も寝ずに働いたこともあります。

帝国ホテルに精肉を卸していることから、数多くのホテルと関係ができ、多くの取引につながっていきました。特に東京オリンピックの選手村納入には準備が1年かかりましたが、その時にたくさんの調理人の方々と人脈ができました。新しくホテルがオープンする際、懇意にしている調理人の方が料理長として就任するケースも多く、信頼と実績を評価いただいております。

(2009(平成21)年の談話)



編集後記

当社100周年記念行事の一環として、社史の制作を決めたのはおよそ1年前のことでした。翌年の設立記念パーティに合わせ編集作業をスタートしました。

記録資料や写真があまりなく記憶もどんどん薄れていく焦燥感もあり纏めきれぬのが不安でしたが、作るなら今しかないと思いました。

古い写真や記録は大戦で焼けてしまいありませんでしたが、幸いなことに初代社長野村勝之助氏のご子息の^{ひろし}が

(元東京外国語大学ドイツ語教授)がいろいろなことをよく覚えておられて、大変助かりました。また多くの諸先輩の方々、外部編集の株式会社出版文化社にもご協力いただき、心より御礼申し上げます。

さらに今回を契機に、社訓を定めることもできました。

今後、本冊子は社員のバイブルとして、また当社の案内として役立てたいと思います。

2017(平成29)年5月 豊島 一夫
吉村 不可止

株式会社ノムラ 創業100年の歩み

2017年5月発行

発行
株式会社ノムラ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-15
TEL 03-3291-5500 (代)

編集・制作
株式会社出版文化社
東京・神田神保町 大阪・本町

印刷・製本
日経印刷株式会社

©2017 Nomura Co., Ltd. Printed in Japan



株式会社

ノ

ム

ラ